

● 第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和4年度第4回生涯学習審議会
開 催 日 時	令和4年10月25日（火） 午後2時～午後3時50分
開 催 場 所	さくらホール集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：齊藤委員、石橋委員、高橋委員、渡辺委員、吉田委員、 河原塚委員、中里委員、長瀬委員、木下委員、長堀委員 事務局：文化振興課長、文化振興課生涯学習係係長・主事
議 題	議題1：「市民がつくる市民大学の設立にむけての構想を進める」（仮称）の検討における終着点について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：市民がつくる市民大学の設立にむけて立ち上げ部分等についての検討を深める。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） 説明者 ○＝委員 ●＝事務局	<p>報告事項1：令和4年度武蔵村山市公民館講座実施状況について <事務局が資料を読み上げる> ●只今の説明について質問等を受付ける。 ○スマートフォン講座の参加人数が資料の人数と、実績報告書の人数と相違しているが、どちらが正しいのか。 ●実績報告書の19人が正しい。</p> <p>報告事項2：令和5年度公民館講座について <事務局が資料を読み上げる> ○質問等を受付ける。 ○シルバー教室で、前年度の講座からのステップアップ講座を行うとなると、スマートフォン講座が重複する事となるように思う。 ●前年度からの講座に限らず、それ以前の講座からも選出をするよう考えている。講座同士で重複した内容にならないようにしたい。 ○健康いきいき講座と今年度のフレイルは内容が重複するよう思える。そこも重複はしないような形をとることで考えているのか。他課の講座とも同じことが言えるので、全庁的な部分も含め講座内容が重複しないように講座を開講してもらいたい。 ●重複しない形で講座内容の構成を考えていく。</p> <p>報告事項3：令和4年度武蔵村山市民企画講座について <事務局が資料を読み上げる> ○質問等を受付ける。 ○募集人数は何人か。 ●10名を予定している。</p> <p>議題1：「市民がつくる市民大学の設立にむけての構想を進める」（仮称）の検討における終着点について <事務局が資料を読み上げる></p>

○市民大学で行う内容のイメージは、現講座の内容の充実をさせることや、講座内容のレベルアップをさせるような形なイメージでいいのか。

○個々の講座を無理に集めて作るような形ではなく、市民大学的前提は市民が中心に運営を行うというところが大きなポイントである。その中に従来の形の単発で行っている講座に継続性を持たせる。また講座内容は、やりたいと思う人が自ら提案をして企画運営を進める。市はその補助的な立ち位置となるような形が望ましい。この仕組みが市民大学の形であると考えている。

○生涯学習での取り組み内容と公民館の事業の内容の違いは何か。

●生涯学習の取り組みを行うという大枠の中で、公民館事業の運営を行っているというように捉えていただきたい。

○生涯学習は、教育というような概念ではなく、自分自身の人生を豊かにするために学んでいく、その手助けをするのが生涯学習という考え方で捉えるとわかりやすい。

また、社会教育と学校教育とで区別して考えるというのも解りやすいと思う。

○社会教育という分野からの視点で、自ら学び続けるための考え方として、生涯学習があるとうような理解で良いと思う。

○社会教育会議、生涯学習推進会議、公民館運営審議会の3つの各委員が統合し、現在の審議会発足があるので、それぞれの考え方や検証内容がそれぞれの委員で話し合った経緯もあり、進捗状況や意向がバラバラだと思う。その3つの統合の趣旨を知りたい。

●次回会議にその資料を示したいと思う。

○公民館の内容と、それにプラスするようなイメージで、市民とともに生涯学習を学ぶ場を作っていくという形をつくるというのが、市民大学のイメージだと思う。

○公民館講座についても、現状は単発的なものばかりなので、学びたい人、教えたい人も、継続をしていけるような仕組みづくりをしていくために生涯学習という視点で、市民大学を作る必要性があると思う。

○学びたい「意欲の置き所」として市民大学は必要であると考え

る。

○市民大学の設立のための予算は付くのか。

●従来の公民館講座はそのまま継続をしていくところは変わらない。市民大学の部分については、運営方針等が固まり具体化した中での予算要求は可能である。ただ、予算の確保が確実かどうかはわからない。

○市民大学運営の具体的構想をまとめていくことを軸にして話し合いをしていく必要があると思う。そして最終的に、具体的構想を報告書としてまとめあげていく方向で今後会議を進める必要があると思う。

○大学の目的とは何か。

○学校教育と大学とは区別して考える必要がある。市民が自ら学び、生涯学び続ける場所の提供を行うのが、市民大学の役割だと思う。

○市民大学を運営するための組織づくりが必要だと思う。それを作るための具体的な部分を報告書としてまとめてはどうか。

	<p>○市民大学を設立する目的や意義を話し合うのもひとつ。 ●今の状況であると、話し合いの内容が広すぎるため、どこまでを話し合うのかの的を絞りたいと事務局は考えている。 ○こういった形にしていくのかたたき台があるといいのではないか。 ○市民大学の立ち上げを中心として話し合いを進め、立ち上げの部分から運営までの部分で話し合っていくのが望ましいと思う。 ○市民大学をつくる意図をもっと明確化することが大事である。 ○従来への審議会での話し合いの状況を知りたい。 ○以前の資料で立川市と東大和市の状況があったが、東大和市の形を参考に話を聞けたらいいと思う。 ●例えば、立ち上げの部分について、というところでの的を狭めて話し合っていくことで、市民大学をより現実的に設立させることに近づけることが出来ると思う。広すぎる内容での話し合いであると理想という部分が強くなりすぎると思うので、市民大学の立ち上げに焦点を絞るなどという形での話し合いを進めていくのが良いのではと考える。 ○「市民がつくる市民大学の設立にむけての構想を進める」（仮称）の検討における終着点については、市民大学の設立を現実的なものとするために、立ち上げについてどのような形態とするのかというところを中心に、意見を出し合い、進めるということで行きたいと思う。 ○次回、以前市民大学について生涯学習推進会議で審議をした経緯もるので、その報告書を資料として出してもらい、それをたたき台としていくのはどうか。 ○東大和市の状況などもわかるといいと思う。</p> <p>その他：第5回生涯学習審議会の開催日程について <事務局が資料を読み上げる> ●只今の説明について質問等を受付ける。 ●次回日程については各自日程を確認いただき講座案の提出時に予定表を提出してもらうこととする。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 () </p> <p style="text-align: right;">傍聴者： 0 人</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：) </p> <p>庶務担当課 教育委員会 教育部 文化振興課（内線：656）</p>
---------------------	---